

現場リーダー-TWI研修

中間管理者や現場リーダーに求められる管理能力の向上を図るため、TWI訓練の「改善の仕方」「仕事の教え方」「人の扱い方」について基本的な技法を学びます。演習や事例研究を通して体得する事で職場での実践に繋げ、現場力向上を目指します。

※成長分野産業：「自動車」「航空機」「ロボット」「環境・エネルギー」「医療・福祉・健康」「食品・農業」分野をいう。

- ▶ **開催日時**：9月15日（木）・16日（金）
両日とも 9：00～16：00
- ▶ **場 所**：山形県高度技術研究開発センター2F研修室
（山形市松栄2-2-1）
- ▶ **講 師**：ピーキューブ株式会社 成沢 俊子 氏
- ▶ **定 員**：15名
（1社2名までのお申込みとさせていただきます。）
- ▶ **受講料**：5,000円
※受講決定後、県の納入通知書をお送りいたします。
- ▶ **対象者**：県内ものづくり企業の中間管理者・現場リーダーの方、
または監督者としての知識が必要な方

《お申込・お問合せ》

公益財団法人山形県産業技術振興機構（山形市松栄2-2-1）

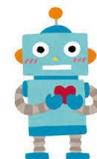
TEL.023-647-3154/FAX.023-647-3139

E-mail:s-yarimizu@ypoint.jp 担当：研修課 鎌水茂美

※裏面申込用紙にご記入の上、FAXまたはメールにてお申込み下さい。締切8月30日（火）

研修内容

日 時	主な内容
1 日目 9月15日(木) 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督者の役割、管理者の役割 ・ 監督者に必要な5つの条件 ・ TWI-JM (改善の仕方) を実演を通して学ぶ ・ 現在のやり方、新しいやり方、改善提案の仕方 ・ 私達の仕事と、仕事の教え方 ・ TWI-JI(仕事の教え方)の4段階
2 日目 9月16日(金) 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ TWI-JI (仕事の教え方) 作業分解の必要性、作業分解の実習、 作業分解をもとに4段階法を使う ・ TWI-JR (人の扱い方) の重要性 事例研究①、②



 **ポイント!** TWIとはTraining (訓練) Within (内の) Industry(企業) for Supervisors(監督者のための) の略。生産部門やサービス部門のほか、あらゆる業種において監督者の基本教育手法として活用され、その有効性が高く評価されている。

新型コロナウイルス感染防止のためのお願い

別紙「お知らせ」をご覧ください。
※皆様のご協力をお願いいたします。
※県内の感染状況によっては開催日程を変更する場合があります。

受講者の声

(アンケートより)

- ・ 監督者としての在り方など今回の研修で実感した。今後も研修で学んだことを実践していきたい。
- ・ 作業を細分化する事によって無駄な作業が見え改善に繋がった。
- ・ グループ討議やワークが分かりやすく、学ぶ事が多かった。

(公財) 山形県産業技術振興機構 行き

FAX : 023-647-3139 E-mail: s-yarimizu@ypoint.jp

「現場リーダーTWI研修」 参加申込書 ※申込締切 8月30日(火)

企業名					
所在地	〒		TEL.	FAX.	
担当者	職・氏名		E-mail		
参加者	役職名 (所属名)	(フリガナ) 氏 名	年齢	勤続年数	E-mail
			男女		
			男女		

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染が疑われる者が出た場合、本申込書を保健所等の公的機関に提供する場合がありますので、ご承知おきください。